

平成21年5月吉日

報道関係者各位

社団法人 燕三条青年会議所
理事長 長谷川 直哉

社団法人 燕三条青年会議所 6月例会
「己の美学についての講演会」開催の案内

謹啓 初夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は当青年会議所の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年6月8日に6月公開例会「己の美学についての講演会」を下記の要綱にて開催させていただきます運びとなりましたのでご案内申し上げます。

NHKドラマ「白洲次郎」の原案作者 北 康利 氏をお招きし、激動の時代を生きた白洲次郎の生き様から、その時何を考えどのように行動したのかを学び、美意識や信念について考える機会にして頂ければ幸いです。

つきましては、この講演会を開催するにあたり、是非とも報道関係者様より内容・趣旨をご理解の上、広く市民にお伝えする上で取材にお越し頂きたく御案内申し上げます。

謹白

記

日 時	平成21年6月8日 月曜日
受付開始	18:30
講演会	18:55 開場 19:15 開会
会 場	三条・燕地域リサーチコア7F マルチメディアホール (三条市須頃1丁目17番地 TEL0256-35-7811)

★ お問い合わせ先 社団法人 燕三条青年会議所 事務局
TEL 0256-32-5151
FAX 0256-32-5343

【内容説明】

作家 北康利氏による講演会

講演内容：

敗戦後の日本において、日本国憲法制定そして戦後復興と絶体絶命の状況下においても決して諦めることなく、私利私欲を排して日本の尊厳を守った「自立」に自らを捧げて戦った人々の話からリーダーとしての信念や覚悟を学び、厳しい経済状況を復興させるために、現在にも通じるような縦割り官僚システムにメスを入れて通商産業省を創設し腐敗政治の一掃を目指す姿を通じて、私達の責務を見つめなおす機会となる。

敗戦により全てを失った日本に残っていた唯一無二にして最大の財産が「日本人」であった。匠の伝統を受け継ぎ、手先が器用で我慢強く、向上心旺盛な、世界有数の勤勉な国民性。職人の匠の技、精神は国の宝であり国家の礎であること。まさに、この地域にも脈々と受け継がれている尊き美意識や精神を誇りと感じる機会となる。

～白洲次郎とは～

名宰相吉田茂の懐刀として日本の戦後復興に尽力する。

1919年、17歳で英国ケンブリッジ大学に留学し、英国紳士としての教養とマナー、そして見事な伝統的イギリス英語を身につける。己の良心を信じ、輝く未来を夢見て、敗戦、占領、そして独立という激動の昭和を駆け抜ける。日本人でありながら世界的な視野に立ち、GHQという強大な権力を相手に臆せず果敢に戦い活躍した人物。

日本の経済的独立を目指し通商産業省創設に奔走し、創設後はずっと身を引く。

【講師選定理由】

北康利氏は、講師プロフィールから分かるとおりに多岐に亘り活躍されており、幅広い見識を兼ね備えていらっしゃる方であり、白洲次郎という実在した人物を通じて、今を生きる私達が地域のリーダーとして果たすべき使命をあらためて考える機会を与えてくれるのに最適な講師である。また、「匠の国 日本～職人は国の宝、国の礎～」という本も執筆されており、「楽しんで儲けたい」という現代の風潮を憂いており、職人の世界の世代を超えた知恵の集積を背景とした精神こそが日本の尊き美質であると述べている。この講師ならば、美意識を背景として、燕三条市民の心に響くお話が可能であると確信している。

また、今春のNHKドラマ「白洲次郎」の原案作者として非常に著名な方である。